

環境かわら版



2026年1月号(第356号)



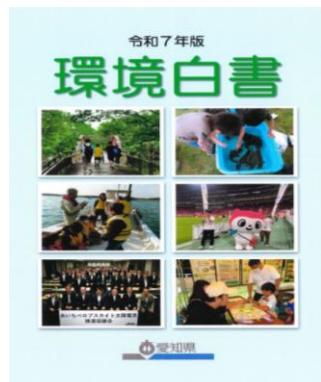
あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します(P2)



企業向けセミナー「今からはじめるネイチャーポジティブ経営～自然と共に生きる企業へ～」を開催します(P2)



かがやけ☆あいちサスティナ研究所の成果発表会を開催しました(P4)



令和7年版環境白書を発行しました(P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。

「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します



愛知県では、NPO・ボランティア団体、市町村などが行う森と緑づくりにつながる活動や環境学習に対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

この度、今年度の取組事例の発表や参加者同士の情報交換などを行う「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」を開催します。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでもご参加いただけますので、是非お越しください。

1 日時 2月3日（火）13:30～16:30

2 場所 愛知県西三河総合庁舎 10階大会議室
(岡崎市明大寺本町1-4)

3 定員 100名（申込先着順）

4 参加費 無料

5 申込方法

氏名、団体所属の方は団体名、電話番号、メールアドレスをご記入の上、FAX又はメールによりお申し込みください。

FAX：052-954-6914

メール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

6 申込期限

1月27日（火）まで

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/happyou-kouryuu.html>)



あいち森と緑づくり 交流会

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

企業向けセミナー「今からはじめるネイチャーポジティブ 経営～自然と共に生きる企業へ～」を開催します



自社の事業が自然にどれだけ依存し、また影響を与えていたかを分析し、自然環境の保全につなげていくネイチャーポジティブ経営への移行が、国内外で重要な課題となってきています。この背景を踏まえ、愛知県では企業向けセミナーを開催します。

1 日時 2月25日（水）13:30～17:30

2 開催場所 ※ オンライン併用

TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター ホール8A
(名古屋市中村区名駅2-41-5 CK20名駅前ビル8階)

3 内容

(1) 生物多様性保全からネイチャーポジティブ社会へ

[講師]国立研究開発法人 森林研究・整備機構
理事長 中静 透 氏

(2) 生物多様性の国際動向とビジネスの最前線

[講師](株)バイオーム
代表取締役 CEO 藤木 庄五郎 氏

(3) 企業と自然の共生～ムサシ環境づくりの挑戦記～

[講師]武蔵精密工業(株) サステナ&CG
ひろた てつや 氏、中島 まさはる 氏

(4) 企業がいまネイチャーポジティブに取り組むべき理由

[講師](株)三井住友銀行 社会価値創造企画部
グループ長 吉川 聰一郎 氏

(5) 意見交換会

講師との交流セッション（会場参加者のみ）

4 定員 会場120名、オンライン500名

5 参加費 無料

6 申込（先着順）

期限：2月18日（水）まで

申込方法：右の二次元コードから申込



自然環境課 国際連携・生態系グループ

電話 052-954-6229（ダイヤルイン）

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します



グリーン購入の普及と定着を図るため、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市等で構成する東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会は、関係団体・事業者と連携・協働して、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を2002年度から実施しています。

今年度もスーパーマーケットや薬局など3,850の協力店舗を中心に、キャンペーンを実施します。

グリーン購入をして、あなたもエコに参加しませんか？

1 内容

期間中、エコマークなどの「環境ラベル付き商品」、洗剤の詰め替えなどの「環境配慮商品」、地元の特産品などの「環境負荷低減商品」を購入して、応募いただいくと、抽選で150名に素敵なエコ商品をプレゼントします。

2 期間

1月9日（金）から2月8日（日）まで

グリーン購入とは

買い物をするときに、必要なものかどうかを十分に考慮した上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。

3 応募方法

○インターネットによる応募

ポスターやPOPなどに掲載されている二次元コード又は東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会の公式X【ID：@tokai31_green】（https://x.com/tokai31_green）から応募フォームにアクセスし、必要事項を入力してご応募ください。（<https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/surveys/1435251706259327149>）



○応募はがきによる応募

協力店舗に備え付けの応募はがきに、必要事項を明記し、簡単なアンケートにお答えの上、郵送にてご応募ください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/tokaisankenishishi2025.html>)



東海 グリーン購入

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

かがやけ☆あいちサスティナ研究所の成果発表会を開催しました

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

持続可能な未来のあいちの担い手を育成するため、大学生が研究員となり、パートナー企業からの環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会を、12月7日（日）に名古屋大学で開催しました。

第11期生となる32名の研究員は、6月22日（日）の開所式以降、8チームに分かれてパートナー企業を訪問し、環境取組の現地調査や担当者とのディスカッションを行うとともに、チームミーティングを繰り返し、課題の解決策を検討してきました。

成果発表会には、134名の方に参加いただき、各チームの研究成果の発表と併せて、研究活動の締めくくりとなる修了式と表彰式を行いました。

<2025年度のパートナー企業（五十音順）>

あいおいニッセイ同和損害保険（株）、（株）あいち銀行、（株）サガミホールディングス、シヤチハタ（株）、大同メタル工業（株）、日本特殊陶業（株）、マックスバリュ東海（株）、（株）LIXIL

1 研究成果発表会

各チームは、10分間という短い時間の中で、創意工夫を凝らした発表を行い、パートナー企業の代表者及び審査員から講評をいただきました。



「チーム・AD」の発表

2 修了式

知事は研究員に対して、半年間にわたる研究活動を労い、「持続可能な未来のあいちの担い手として活躍することを期待する」とエールを送りました。また、研究員を代表して、「チーム・シヤチハタ」の



修了証授与

森田まりさんが、知事から修了証を受け取り、関係者への感謝の言葉とともに、「自分で考えて仲間とともに形にしたこの経験をここで終わらせることなく、メンバー32名全員がそれぞれの分野で持続可能な社会に向けて活かしていきます」と決意を述べました。

3 表彰式

審査員審査と来場者投票の結果により、最優秀賞・優秀賞（2チーム）を選定しました。最優秀賞には、歌とイベントで人々にインパクトを与え、未来の環境を守るために行動につなげる企画「歌+イベントで未来につながる意識改善～意識が変われば行動が変わる、行動が変われば環境が変わる～」を提案した、「チーム・LIXIL」が輝きました！



最優秀賞を受賞した「チーム・LIXIL」と知事

受賞結果

賞	受賞チーム
最優秀賞	チーム・LIXIL
優秀賞	チーム・AD（あいおいニッセイ同和損害保険）
	チーム・Niterra（日本特殊陶業）

4 その他

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>)



あいちサスティナ研究所

検索

環境政策課 企画・広報・法規グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

「令和8年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 愛知県選考作品の2作品が受賞しました



「令和8年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」

(主催：(公財)日本鳥類保護連盟)において、愛知県選考作品として推薦した南山高等学校女子部1年の堀馨子さんの作品が環境大臣賞を、名古屋市立自由ヶ丘小学校6年の松尾菜月さんの作品が(公財)日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

愛鳥週間用ポスター原画コンクールは、全国の小・中・高等学校等の児童・生徒を対象に次年度の愛鳥週間用ポスターの原画を募集し、優秀な作品を表彰するものです。県内からは、427校の小・中・高等学校等から計11,259点の作品の応募があり、県の審査会において特に優秀と認められた30点を選考作品として、全国コンクールへ推薦しました。全国コンクールでは、各都道府県から推薦のあった421点の作品について審査が行われました。

<受賞作品>

環境大臣賞

(公財)日本鳥類保護連盟会長賞



堀馨子さんの作品



松尾菜月さんの作品

今回の受賞を受け、12月22日に愛知県公館において受賞伝達式を行い、2名の受賞者に対し、知事から賞状と楯をお渡しました。



受賞伝達式の様子（記念撮影時）

<募集結果>

学校区分 ^{*1}	愛知県 (全国)		
	学校数	応募総数	送付数 ^{*2}
小学校	261 (1,348)	7,801 (16,764)	18 (156)
中学校	158 (1,297)	3,414 (11,198)	9 (144)
高等学校	8 (333)	44 (1,777)	3 (121)
合計	427 (2,978)	11,259 (29,739)	30 (421)

*1 学校区分：特殊教育諸学校の生徒の作品は、小学校・中学校・高等学校の同等の学年にも含む。

*2 送付数：愛知県又は各都道府県が推薦した作品数

<入賞作品数>

区分	全国	愛知県
(公財)日本鳥類保護連盟総裁賞	1	-
環境大臣賞	3	1
文部科学大臣賞	3	-
林野庁長官賞	3	-
(公財)日本鳥類保護連盟会長賞	9	1
入選	31	-

なお、受賞作品を含む県が推薦した作品30点については、弥富野鳥園と県庁地下通路で展示します。是非ご覧ください。

● 弥富野鳥園 2階会議室

弥富市上野町2-10 TEL:0567-68-2338

1月6日（火）から2月1日（日）まで

開園時間 9:00～17:00（月曜日休園）

※1月12日（月）は開園、1月13日（火）は振替休園

● 県庁本庁舎・西庁舎間の地下通路

5月11日（月）から5月15日（金）まで

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r8aicho-kekka.html>)



〔 自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン） 〕

スタートアップが革新的な技術・アイデアを発信する 「ピッチイベント」を開催しました



愛知県では、環境分野の課題解決に向け、愛知発の環境イノベーションを創出・実装するため、革新的プロジェクトを探査し、その社会実装に向けた伴走支援を実施しています。

この取組の一環として、11月27日に採択スタートアップが革新的な技術やアイデアなどを発信する「ピッチイベント」をSTATION Ai 3階のセントラルラウンジで開催し、会場では47名、オンラインでは37名の方にご参加いただきました。

当日は、投資会社のグローバルブレイン(株)より環境分野に対する投資の最新トレンドをご講演いただきました。続いて、採択スタートアップである(株)バイウィル、(株)クロスイー、(株)Aladdin、(株)フレンドマイクロー



ブ、(株)E サーモジェンテック、サハシ特殊鋼(株)、DeepForest Technologies(株)等より、各社独自の技術・アイデアをご発表いただきました。質疑応答では活発な議論が行われ、参加者が真剣にメモを取る姿が見られました。その後の名刺交換会では、発表者と参加者で新たな出会いや繋がりが生まれ、大いに盛り上がりました。

本イベントのアーカイブ動画を掲載していますので是非ご覧ください。
(<https://env-innovation.pref.aichi.jp/pitch>)

あいち環境イノベーション

検索

環境政策課 環境イノベーション推進グループ
電話 052-954-6982 (ダイヤルイン)



令和7年版環境白書を発行しました



環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年県議会に提出しています。



川嶋議長(中)及び南部副議長(右)に
武田環境局長から報告 (12月11日)

1971年の初刊発行以来55冊目となる「令和7年版環境白書」は、以下の内容を掲載しています。

○ 第1部「特集」

愛知発の環境イノベーション創出・実装に向けて

○ 第2部「令和6年度の環境の状況と施策」

令和6年度における県の大気環境、水環境等の状況とその保全のための施策

○ 資料編 (※Webページのみ)

環境基準や各法令に基づく基準値など

<環境白書をご覧になりたい方は>

「愛知県県民相談・情報センター」の情報コーナー(愛知県自治センター2階)において、1部2,200円で販売しています。また、以下のWebページに全文を掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)



愛知県 環境白書

検索

環境政策課 企画・広報・法規グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「あいち省エネセミナー」を開催しました



愛知県では、11月27日に県環境調査センターで「あいち省エネセミナー」を開催しました。

講演と取組発表に先立ち、中小企業の脱炭素経営を支援する県の施策を紹介しました。

1 講演

トヨタ自動車(株)モノづくり開発統括部主査の堀川宏さんから、「トヨタの失敗事例から考えるCN*推進活動」と題して、CN活動を進める上でのポイント等について失敗事例を踏まえてご講演いただきました。（*CN：カーボンニュートラル）

2 取組発表

(株)水野鉄工所お客様部営業グループのチームリーダー 富田裕介さんから「カーボンニュートラル推進活動について～トヨタ様三位一体活動との経験を生かした自社活動への展開」と題して、また、(株)安藤工業所の代表取締役 安藤泰浩さんか

ら「CNは楽しい省エネ活動」と題して、自社内でのCN展開方法や取組事例等についてそれぞれご説明いただきました。



セミナー開催の様子

3 開催結果

会場・オンライン合わせて180名の方にご参加いただき、CNの実現に向けて、中小事業者等を中心に様々な分野、業種の参加者が理解を深めました。

（ 地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン) ）

「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました



大規模災害時に発生する大量の廃棄物を適正かつ迅速に処理することは、生活環境の維持だけでなく、早期の復旧・復興のためにも不可欠です。

「愛知県災害廃棄物処理計画」では、災害時の対応力を向上するため、災害廃棄物対策を担う人材の育成を行うこととしています。11月6、7日には、県西三河総合庁舎で、民間事業者団体等*の協力を得て、市町村及び一部事務組合職員を対象とした災害廃棄物処理図上演習を実施しました。

*愛知県衛生事業協同組合 (一社)愛知県産業資源循環協会、(一社)愛知県解体工事業協会、(一社)愛知県土木研究会、(一社)愛知県建設業協会、(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)愛知県環境測定分析協会

図上演習では、参加者がグループに分かれ、被災した自治体の廃棄物担当職員として、大規模地震発

生後3~5日目の3日間に想定される様々な課題への対応を模擬的に実践・確認しました。

参加者は時間経過とともに次々と示される状況に対し、迅速な判断・対応が求められる切迫感を疑似体験し、演習後の振り返りでは、「学んだことを課内で共有したい」「平時からの準備の大切さを感じた」等の感想が聞かれました。



図上演習の様子

（ 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) ）



2025年は、夏の暑さが非常に厳しく、愛知県における熱中症(疑いを含む)による救急搬送者数が2024年を約270人上回る6,653人となるなど、気候変動の影響を強く感じた一年でした。名古屋地方気象台等は、愛知県の今世紀末の年平均気温について、パリ協定の2°C目標が達成されたとしても、20世紀末と比べて約1.4°C上昇すると予測しており、気候変動への適応は、避けられない重要な取組課題です。

○ 県環境調査センター公開デーで気候変動適応について普及啓発を行いました

12月6日(土)に県環境調査センター公開デーで開催した「キミは気候変動に適応できるかな?~すごろくゲームで学ぼう!~」を紹介します。

今回は、気候変動の影響やそれに対する適応策等を取り上げたすごろくゲームを通して、参加者の皆さんに、気候変動適応について楽しく学んでいただきました。参加者からは「適応のことがわかった。」「子ども達でも取りかかりやすく親子で楽しめた。」などの感想が寄せられ、多くの方に気候変動適応への理解を深めていたたくことができました。



すごろくゲームを楽しむ様子

○ 「気候危機対策交流フォーラム」を開催します

県では、愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で、「気候危機対策交流フォーラム」を開催します。皆さん、気候危機に対して何をすべきか、何ができるかを考える内容となっていますので、是

非ご参加ください。

1 日時 1月22日(木) 13:30~16:30

2 場所 ウィンクあいち 1302会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38)

3 内容

(1) 基調講演

「気候変動:リスクか、チャンスか」

国立研究開発法人国立環境研究所
気候変動適応センター

副センター長 上田 健二 氏

(2) 話題提供

「地域の恵み繋いで育てる

バイオマスエネルギー循環」

半田市環境課 主事 片山 高也 氏

「脱炭素が当たり前の地域課題に対応した
交通のあり方」

(公財)豊田都市交通研究所

研究部長 山崎 基浩 氏

「エネルギーで地域強靭化も・農地活用ソーラー
シェアリング」

(一社)中部ソーラーシェアリング

やろまい会 代表理事 北井 久美絵 氏

(3) 会場交流トークセッション

4 参加費 無料(事前申込制)



申込方法等の詳細は、Webページをご覧ください。

(<https://www.kankyoosoken.or.jp/>)

愛知県気候変動適応センター

(環境調査センター 企画情報部)

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)



※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第356号)

発行日 2026年1月5日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。